

教科書検討の観点から見た特色

工芸 I (116-日文・EI-701)

1 学習指導要領との関連

主要な観点	編集上の特色	ページ
学習指導要領全般	●学習指導要領が示す「芸術科」の目標及び内容を踏まえ、生徒の「芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力」を育成できるように、幅広い視点から題材を設定した。	●教科書全般
「工芸I」の目標との関連	●学習指導要領が示す「工芸I」の目標及び内容を踏まえ、生徒の「造形的な見方・考え方を働かせ」て「美的体験」を重ね「生活や社会の中の工芸や工芸の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力」を育成できるように、適切に題材を選択し配列した。 ●題材の設定については、中学校美術の基礎の上に立ち、高校生の造形的な発達に応じた取り扱いができるように配慮した。	●教科書全般
表現及び鑑賞の活動の取り扱い	●全ての題材で表現と鑑賞を一体的に学習できるよう配慮し、表現題材（演習）においても鑑賞活動を一体化させた。 ●表現題材（演習）では、「発想や構想に関する資質・能力」を育むために作例を多く示し、制作過程などを示して「技能に関する資質・能力」をも身に付くよう配慮した。 ●鑑賞題材では「工芸作品などに関する」鑑賞だけではなく、「生活や社会における工芸の働きや工芸の伝統と文化に関する」鑑賞にも重点を置き、作品を精選した。	●教科書全般

2 資質・能力の三つの柱との関連

主要な観点	編集上の特色	ページ
知識及び技能の習得	●題材のねらい、主文、作品解説などを〔共通事項〕（知識）への意識を促す内容とし、学習を通して造形的な見方・考え方を深められるよう配慮した。 ●学習する上で必要になる技法、プロセス、原理などには各演習ページで解説し、道具や知識などについては、資料ページに掲載して学習に役立つように工夫した。 ●色彩については、各素材そのものの色や技法の違いによる色の変化を対比して参照できるようにし、知識理解を深め活用するための資料として巻末にまとめた。	●教科書全般 ●8・9, 13, 16・17, 19・20, 21～23, 25～27, 29～31, 33～35, 37 ●44・45
思考力、判断力、表現能力等の育成	●題材の本文などに見方や感じ方、考え方などの学びの視点を盛り込み、見方や感じ方を豊かにしながら、新たなものの捉え方や主題生成などができるようにした。 ●演習ページでは、題材を学習する上で必要になる素材の特徴や材料用具の扱いや制作過程などの技法について示し、それに対応させて鑑賞図版及び表現課題を示すことにより、表現と鑑賞を一体的に扱えるよう工夫した。 ●演習ページでは、スケッチや制作過程などを多く掲載して、表現活動を行うに当たって、発想や構想の手がかりになるように配慮した。	●教科書全般
実感を伴う鑑賞活動への配慮	●素材の質感を体感したり、作者の表現の工夫が読み取れたりするように、できるだけ大きく作品を掲載するよう配慮した。 ●工芸と自然の関わりや、工芸の形や大きさと機能の関係に眼を向け身の回りのものを観察するなど、身近な自然や生活の中から鑑賞題材を設定し、生活の中で工芸を意識し実感できるよう工夫した。	●教科書全般 ●4～13
学びに向かう力、人間性等の涵養	●各題材の本文を簡潔にして、学習のねらいや学びの目標を明確にして学習に主体的に取り組めるように工夫した。 ●生徒に生涯にわたって、工芸を愛好する心情や豊かな感性が育めるように、巻頭と巻末にオリエンテーションのページを設けた。	●教科書全般 ●2・3, 46・47

3 学習効果への配慮

主要な観点	編集上の特色	ページ
編集意図の新鮮さ・明確さ	●全体を鑑賞と演習（表現・鑑賞）で構成し、それぞれ「目」のマークと「手」のマークで示して、内容が分かりやすいように工夫した。 ●各題材に「ねらい」マークで学習のねらいを示し、関連する用語は「検索ワード」マークで、発展的な学習内容は「調べてみよう」「考えてみよう」マークで示した。 ●二次元コードを必要に応じて入れ、機器で読み取ると当該ページに関連する資料や動画などを参照できるよう工夫した。 ●「用途と道具」「制作のための知識」「安全管理」「製図」「工芸の色」を巻末に資料としてまとめ、各題材と関連して使用できるよう工夫した。	●教科書全般 ●教科書全般 ●15, 17, 19, 21, 25, 27, 29, 31, 41 ●40～45
内容の程度、正確性への配慮	●構造図や説明図、原理図、下絵、アイデアスケッチなどを多く掲載して、作品を表現したり鑑賞したりする際の参考となるように工夫した。 ●日本人作家、撮影者、読みにくい作品名、日常あまり使われない工芸用語などには振り仮名を付けるなどして、学習に役立つよう配慮した。 ●作品と作家の情報は、詳しく、正確で、分かりやすい表記を心がけた。	●教科書全般
他教科や中学校美術科との関連	●国語や歴史などの教科書に掲載されている工芸作家や作品、化学の酸化と還元など他教科で取り上げられている内容を紙面に反映した。 ●木工、金工、陶芸など中学校美術科の内容を受けて、生徒の造形的な能力の発達に応じた取り扱いができるように工夫した。	●教科書全般 ●教科書全般
主体的・対話的で深い学びとの関連	●各ページ下に「検索ワード」「調べてみよう」「考えてみよう」などを設け、教科書内容と関連する事項や興味・関心のある事柄を主体的に学習できるようにした。	●教科書全般
時代への適応性及び環境への視点	●現在活躍している作家の作品を掲載したり、作家へのインタビューページを設けたりするなど、高校生に工芸への親近感を持ってもらえるように工夫した。 ●「工芸と自然のかかわり」「工芸と風土や素材」などの題材を設定し、環境や身近な工芸品への意識が高まるように配慮した。	●教科書全般、14・15 ●4～7
人権尊重などへの視点	●他者との学び合いや話し合いの場を通して、学びの中から男女の平等、自他の敬愛を重んずる心情を培えるよう題材の設定や掲載作品の選択に配慮した。 ●題材名を色地と大きめの墨文字でコントラストを付けるなど、カラーユニバーサルデザインにも配慮した。	●教科書全般、13 ●教科書全般
知的財産権や肖像権に関する配慮	●自己や他者の作品を尊重する態度を育み、工芸に関する知的財産権などについての理解を深められるように、「著作権について」を解説した。	●46
我が国及び諸外国の工芸文化についての視点	●日本や諸外国の工芸の鑑賞題材の充実を図るとともに、特に漆などの生活に息づく我が国の伝統工芸や日本の工芸と万博、柳宗悦と民藝運動等の題材ページについて、知識等を学びながらよさが実感できるように図版や解説を充実させた。	●6・7, 20・21, 38・39

4 造本・体裁

主要な観点	編集上の特色	ページ
印刷	●工芸の教科書にふさわしく、作品のよさが正しく伝わるように、鮮明で美しい印刷を心がけた。印刷用紙も印刷に最適な用紙を厳選した。	●教科書全般
製本	●判型はA4判とし、製本方式は、折ごとに糸でかがり表紙をつける形式で、破れにくく堅牢な造本にした。	●教科書全般
安全性について	●印刷は生徒のアレルギーなどを考慮して植物性インキを使用した。また、表紙の表面加工にも配慮し、教科書を使用するに当たっての健康上の安全性に留意した。	●教科書全般
環境への配慮	●用紙は、表紙・本文とも再生紙を使用し、環境への配慮を十分にした。	●教科書全般